

驚愕！ノロウイルスの猛威

インフルエンザが大流行するこの時期。「ワクチンは打ったし、予防はもう完璧だわ！」
…と思いませんか？

毎年11月～翌年3月にかけて、小学校や保育園、高齢者施設などで、ノロウイルスを中心とする**感染性胃腸炎**が猛威をふるっているのはご存じ??しかも、今年の感染性胃腸炎の患者数は、この**10年間の同時期の中で2番目の多さ**なんですって!?!?

それに、ノロウイルスは新型インフルエンザよりも格段に**感染力が強い感染症**らしい…(汗)

⇒そんなノロウイルスに負けないために、正しい知識を身に付け、
自分だけでなく周りにいる大切な人の身も守りましょ～☆



ノロウイルスとは・・・

かつては「おなかの風邪」「風邪がおなかに来た」などと呼ばれていた症状だけ。「ノロウイルス」という名称は、2002年夏に制定されたんだ。ノロウイルスは、人工的に増殖させる方法が見つからないから、検査や治療方法に対する研究が他のウイルスと比べて遅れてるのさ。繁殖するのは、人の体内「小腸」でだけってわけ。人体の中以外で人工培養できないから、有効なワクチンも開発されていないのが現状さ。俺の怖さが分かったかい?だから、**発症を予防することが何よりも大切**になってくるってわけなのさ!

ノロウイルスの感染経路

～その1～「食中毒」

ウイルスを蓄積した2枚貝(牡蠣・アサリなど)の生食・半生食によるもの、またウイルスで汚染された食品を食べて経口感染する。ただし、牡蠣などはきちんと火を通せば、全く問題はありません。

～その2～「伝染性胃腸炎」

その1によって感染した患者の糞便や嘔吐物に排出されたウイルスから経口感染する。

→最近の大流行は、ほとんどが「その2」の感染ケースと考えられます。

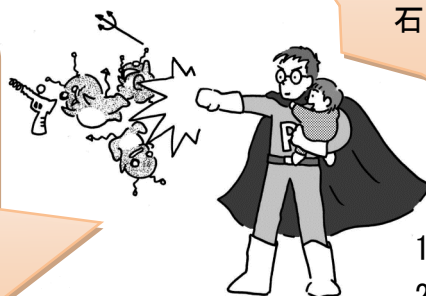
食品を媒介せずに、患者の吐瀉物や糞便のほんの少量の飛沫からでも容易に感染してしまうので、ヒトからヒトに直接感染し、保育所・幼稚園・小学校など小児が集団で生活する施設や、福祉施設・病院など介護が必要な施設での**集団感染**が起こりやすいのです!!!

* 便や嘔吐物の処理

感染者の嘔吐物や下痢便には、ウイルスが大量に含まれているぞ!!!

処理をする際は、使い捨ての手袋とマスクを着用し、ウイルスが飛び散らないように雑巾・ペーパータオルなどで静かに拭き取り、漏れないようにビニール袋でしっかり封をして破棄しよう。

処理後の手洗い・手指消毒は十分に!



ノロウイルスなんてぶっ飛ばそう☆

ノロウイルス感染症

の症状

主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛です。ノロウイルスが口に入ってから発症するまでの潜伏期間は、24～48時間とされます。

胃の不快感があり、突然の嘔吐が発症します。その後、腹痛や下痢を起こします。症状の持続は、3日と短く、予後は良好です。

※症状は個人差が大きく、回復にいたる期間も、体調やもともとの抵抗力によって幅があります。



ノロウイルスを予防する

最も重要で、有効な予防法は・・・

とにかく手を洗う!!!!!!

トイレの後、食事の前、調理の前、オムツ交換の後、嘔吐物や下痢便の処理の後などに、流水・石鹼による厳重な手洗いやうがいがある。

流水で30秒くらいは洗い流そう!

手洗いの6つのポイント

1. 手のひら
2. 指先
3. 指の股
4. 親指
5. 手の甲
6. 手首

